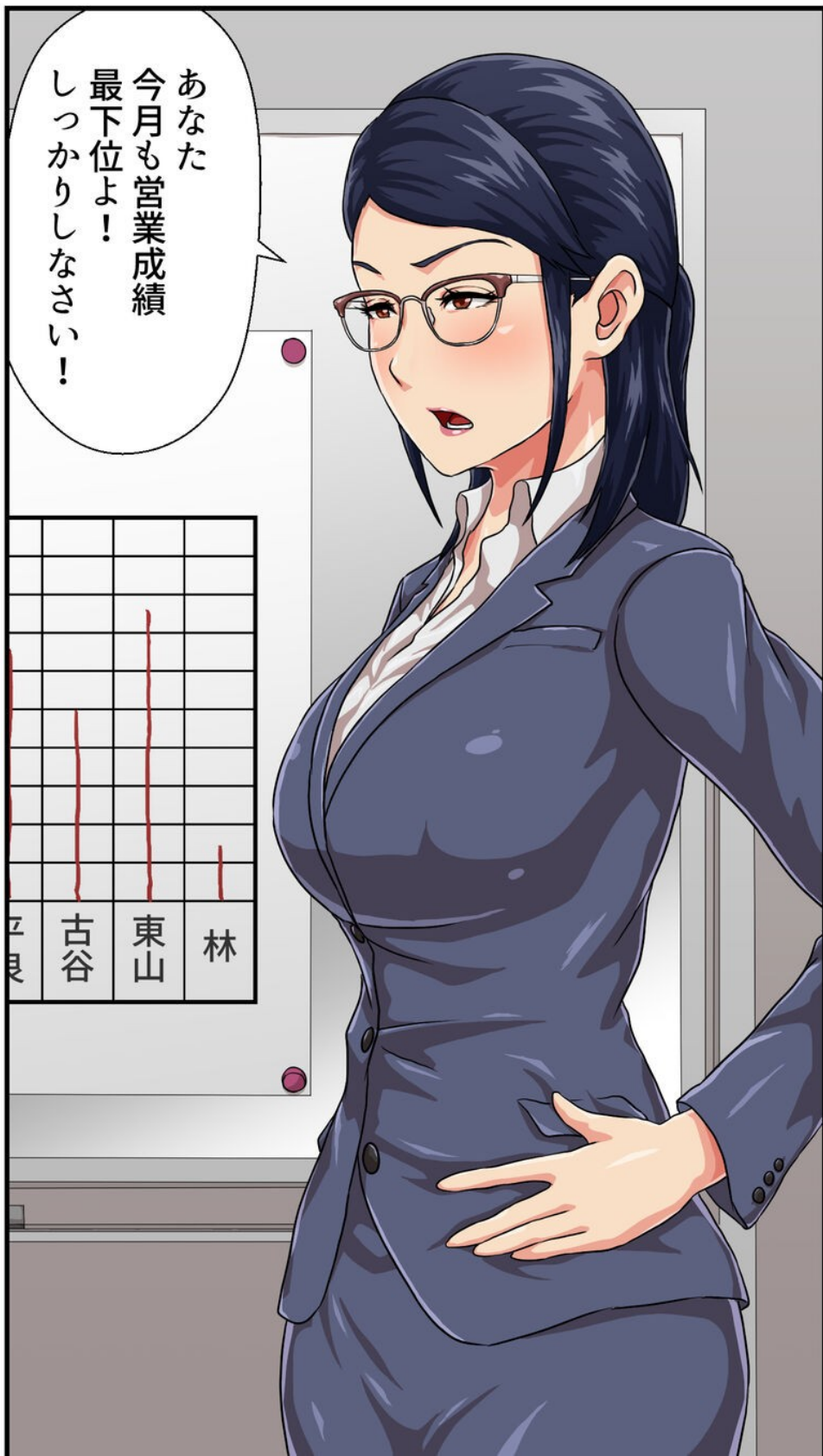


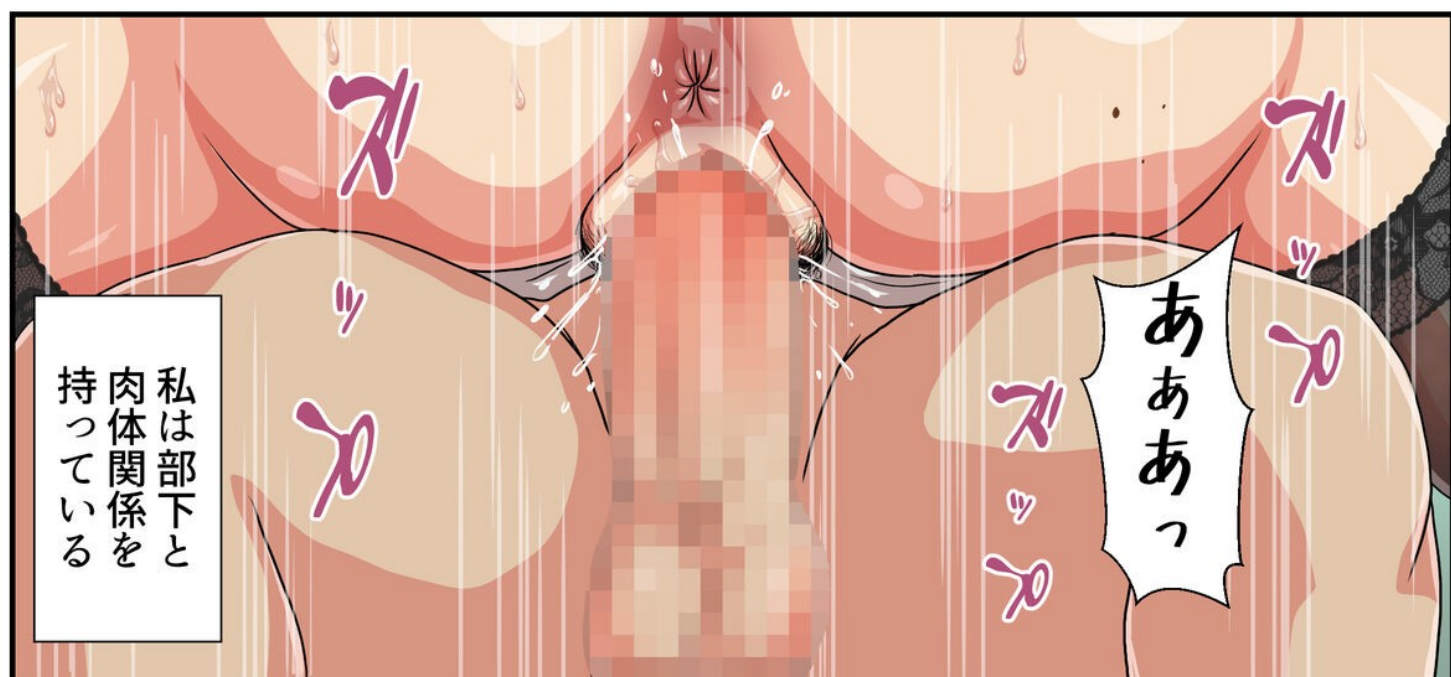
続

女上司は
生き別れた母

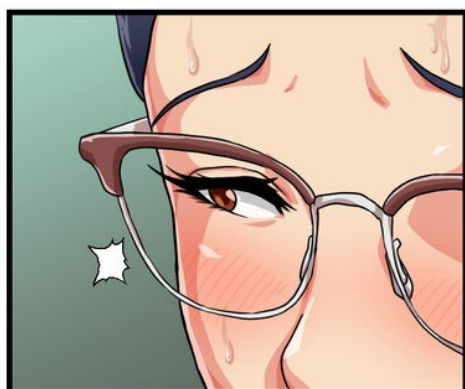
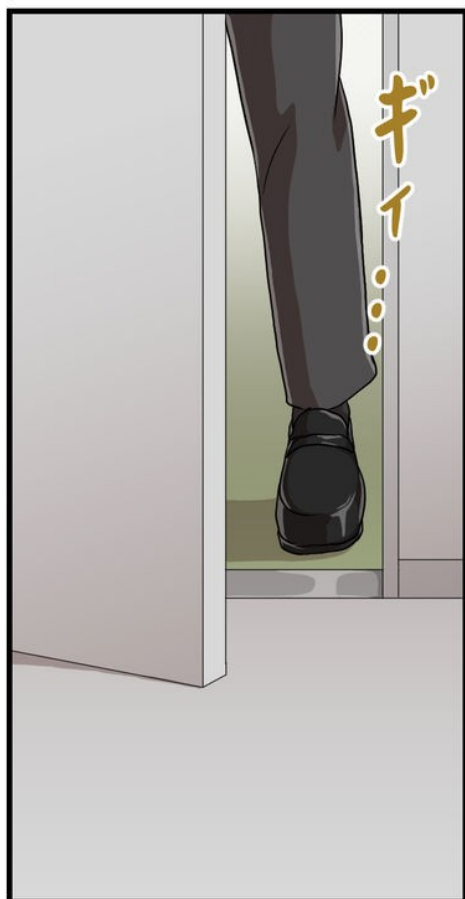


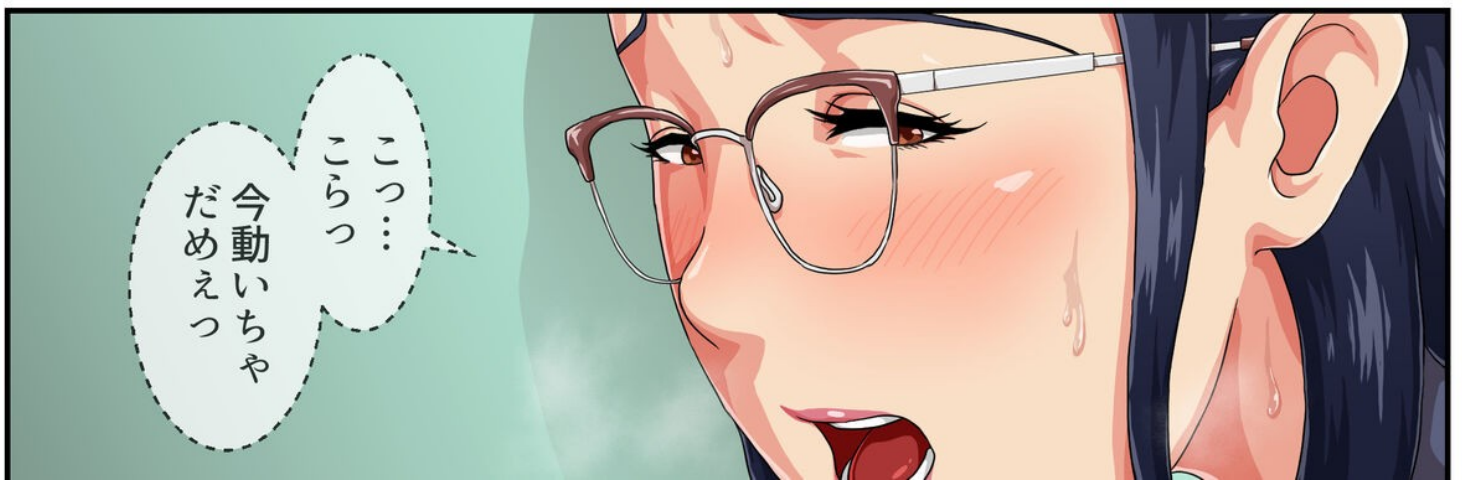
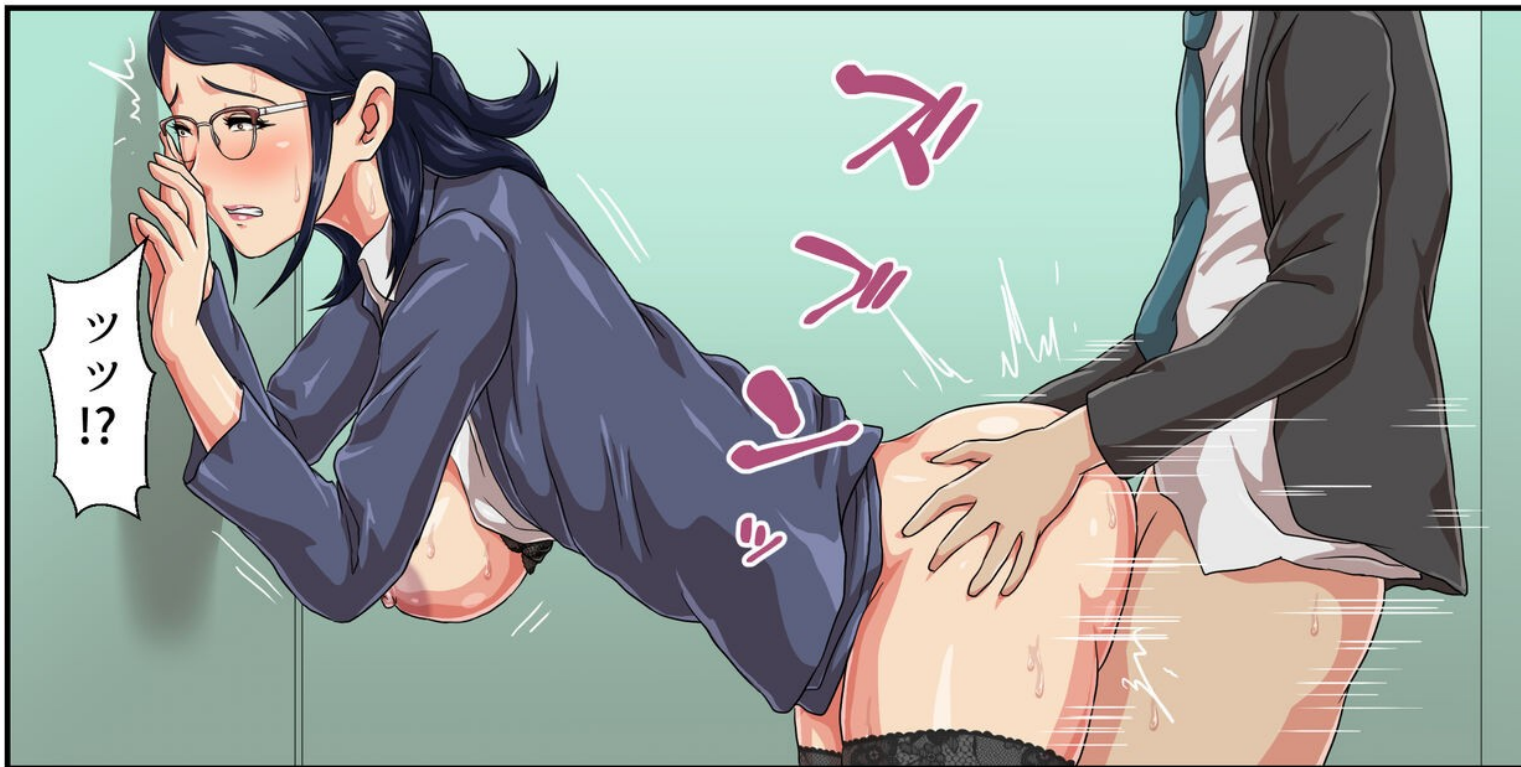


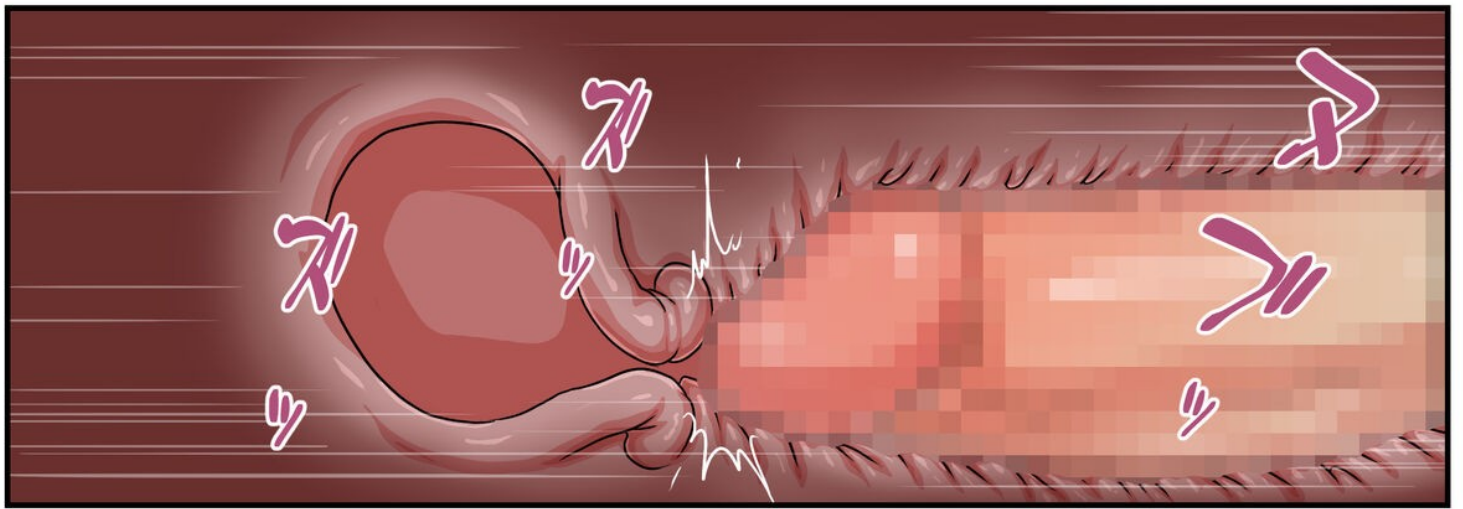
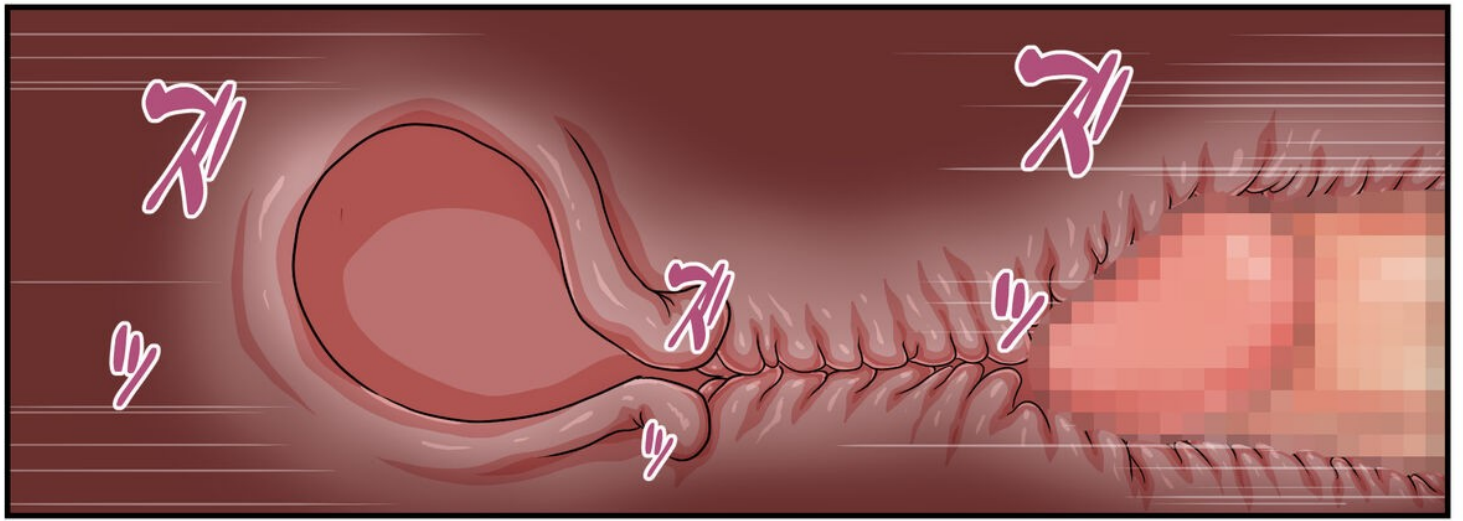




血の繋がった
親子だという事









休日は悠人の
部屋に泊まり
食事を一緒に
とったり

こんな非常識な
関係性を続けては
いるけれど

なんだかんだ
仲良くすごせている



二人で街へ
買い物に
出かけたり

悠人と一緒に
居られるのは
すごく幸せだ

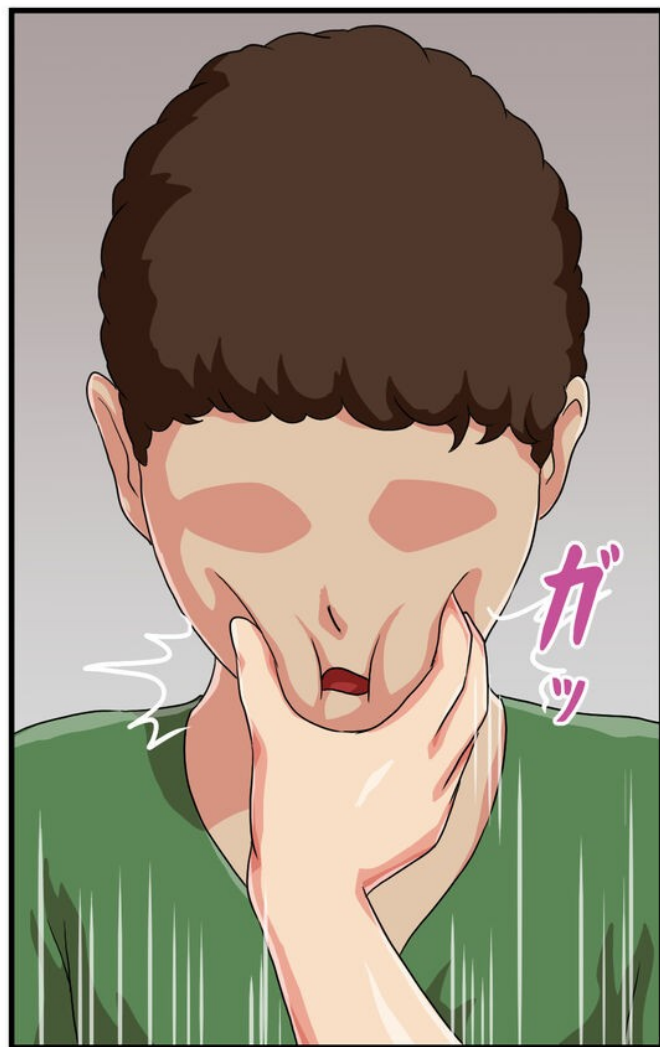
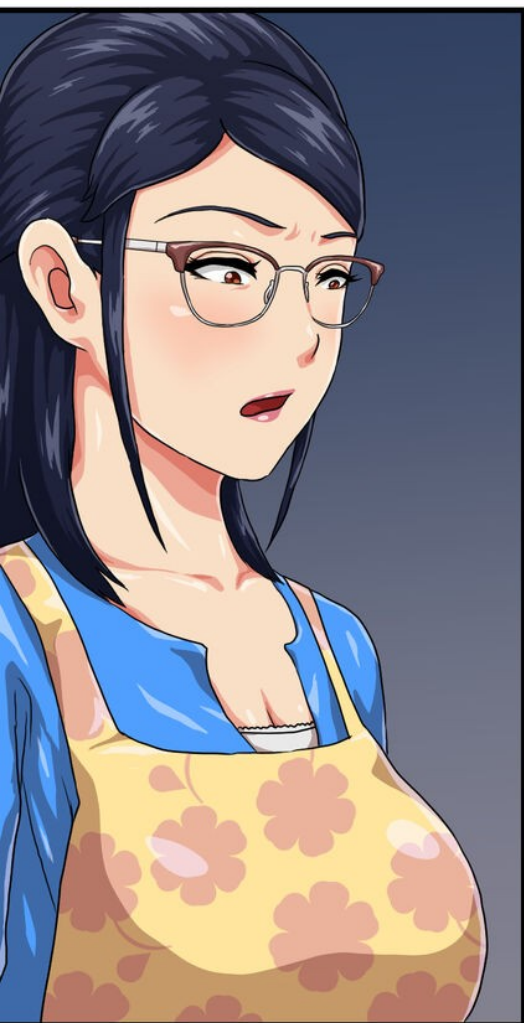


ママ…

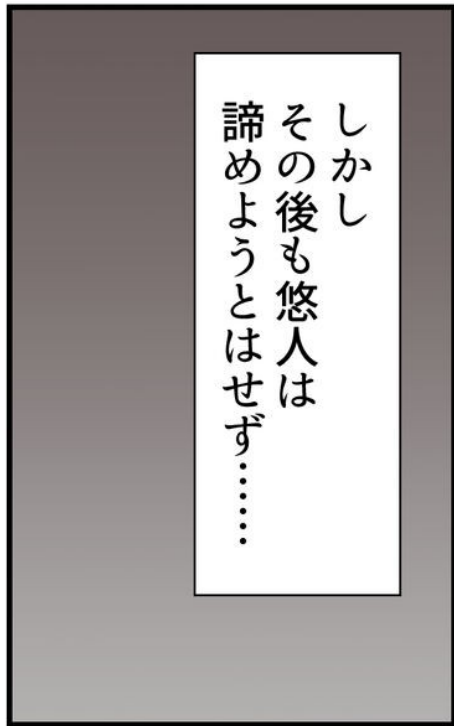
ん？



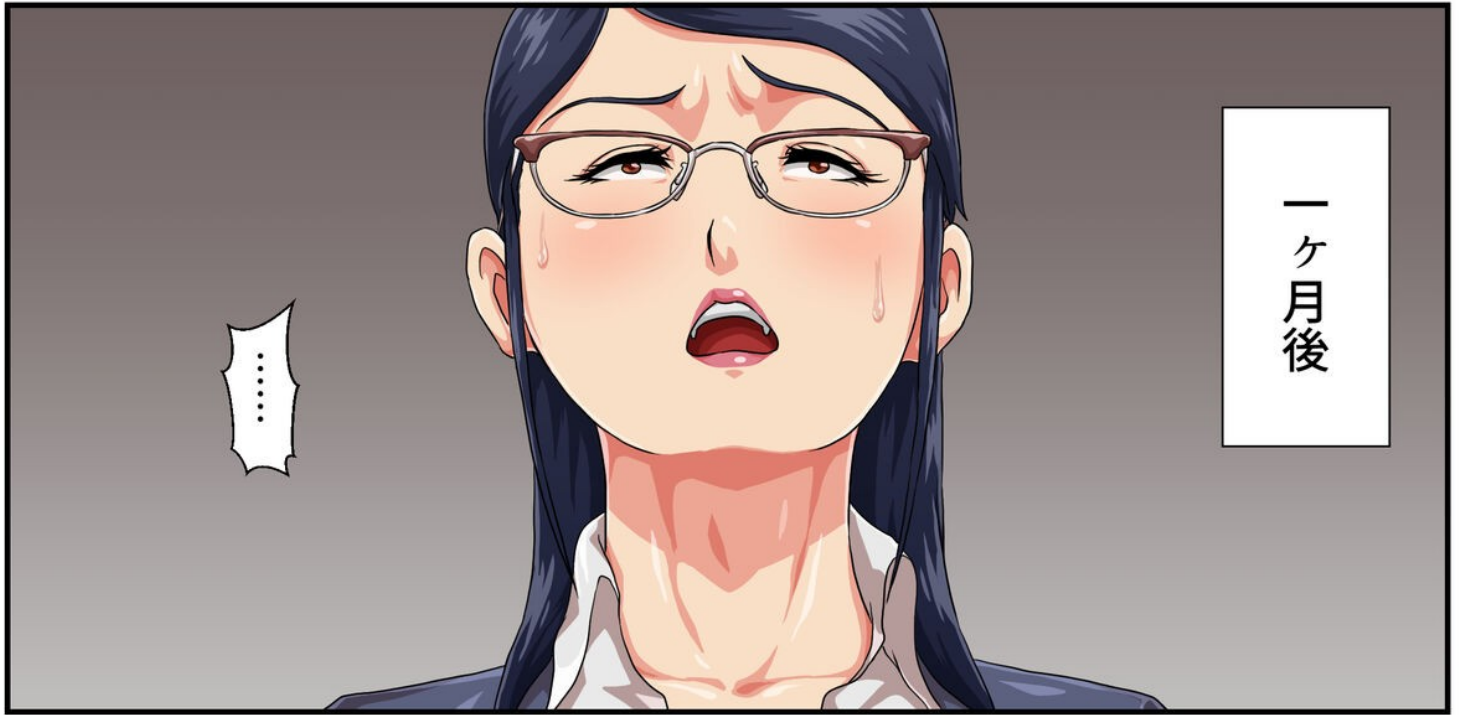
ただ
最近困った
事がある



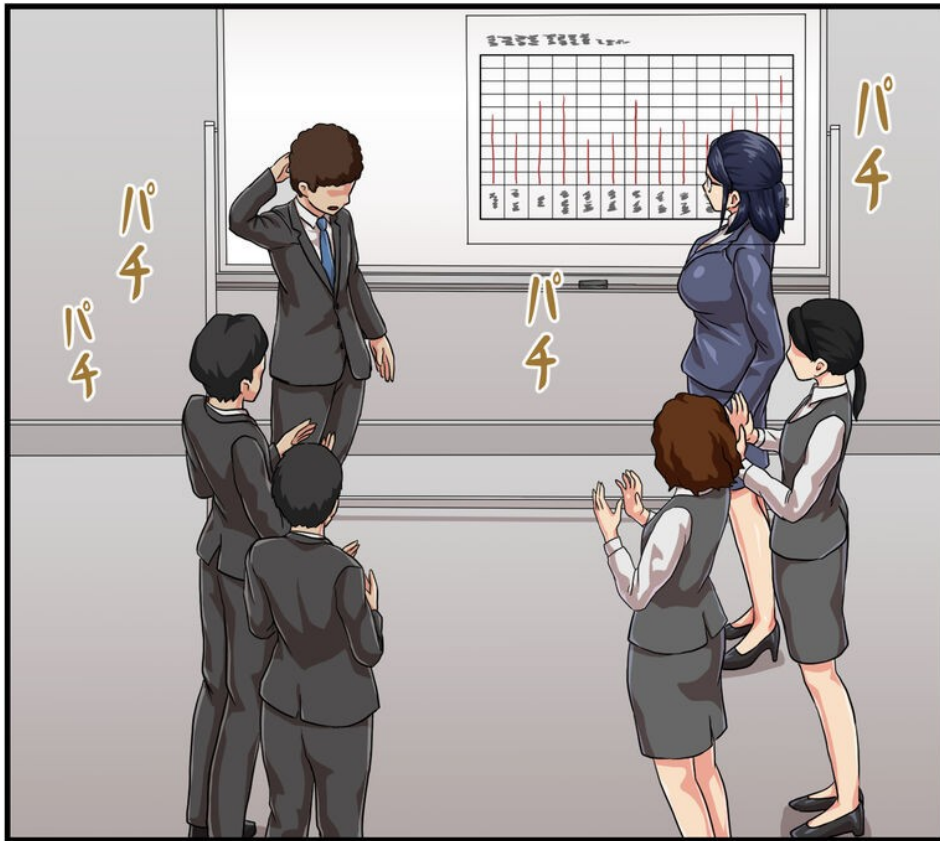




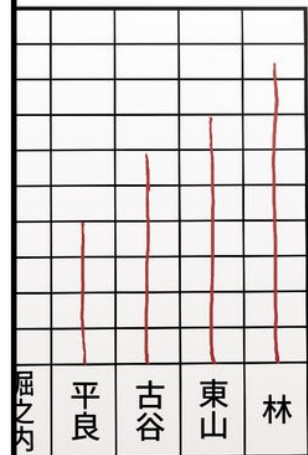




一ヶ月後



営業成績
一位……



林……君……





目でそう語り
かけられた
気がした

「ママを孕ませる
からね」



母子で
子作りなんて
絶対しては
ならない事

しかし
心のどこかで
喜びを感じるのは
なぜだろう



仕事で結果を出した
息子の成長が
嬉しいから？

それとも

まさか
本能的に悠人の
子を産むことを
望んでいる？

ヤウッ

ヤウッ

ヤウッ

そして
約束の子作りの
夜が来た

いつのまに
こんなの買ったのよ

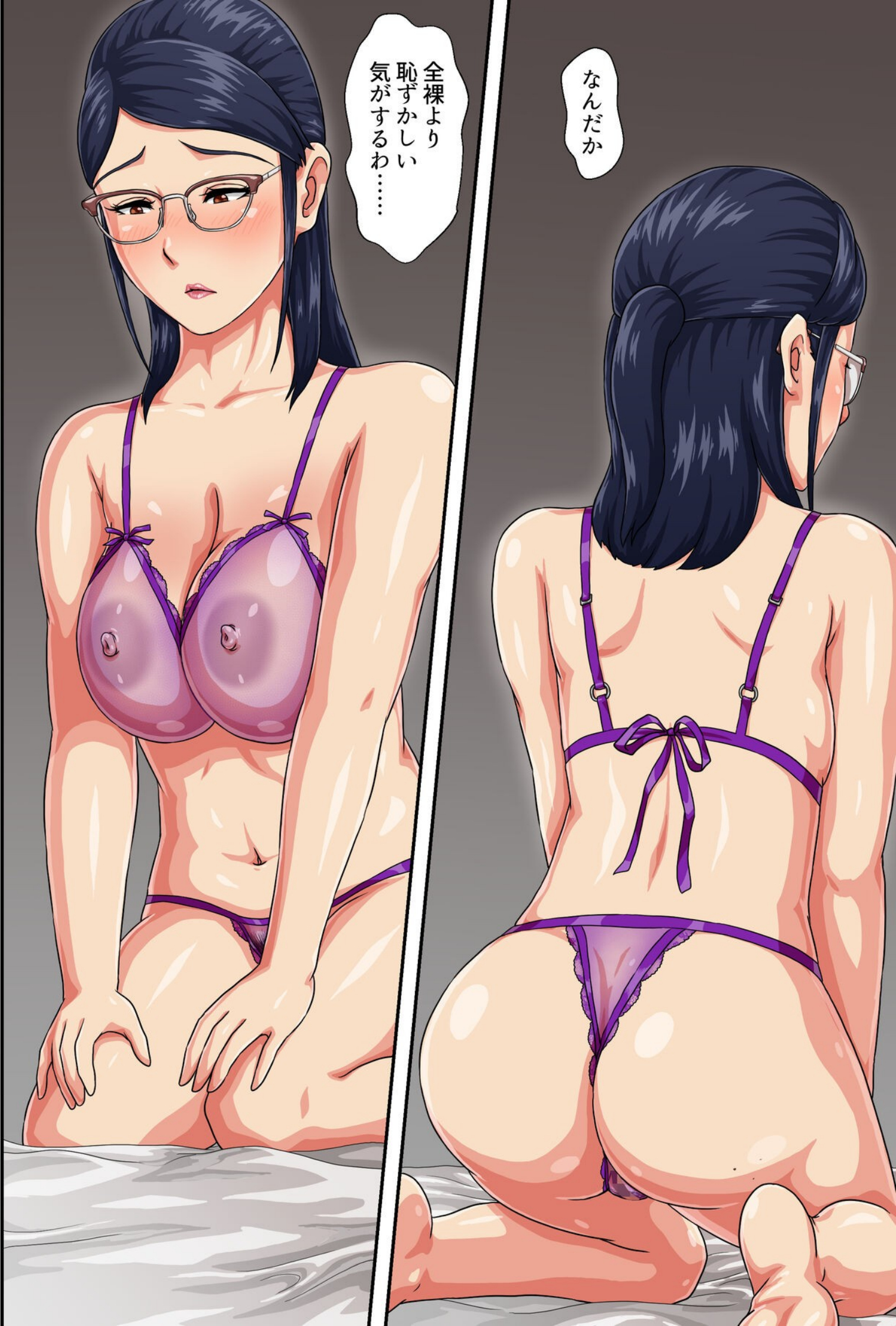
透け透けじゃ
ないの……
こないやらしい…

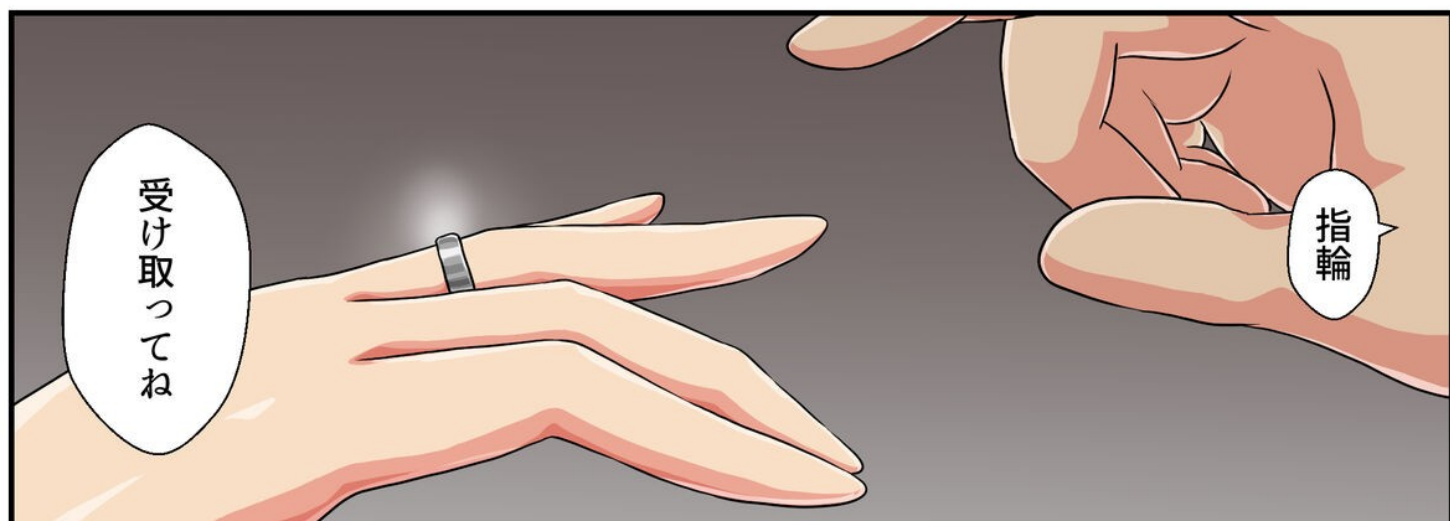
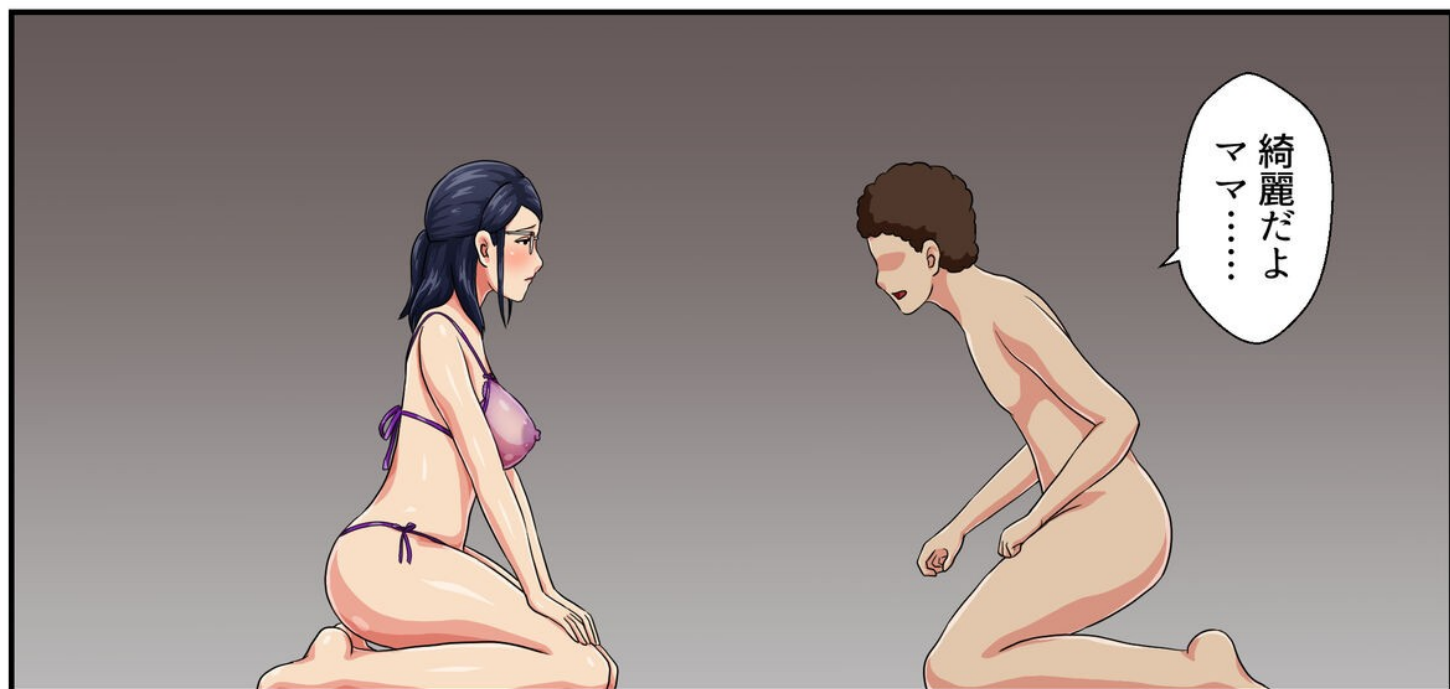
ムクムク

ムクムク

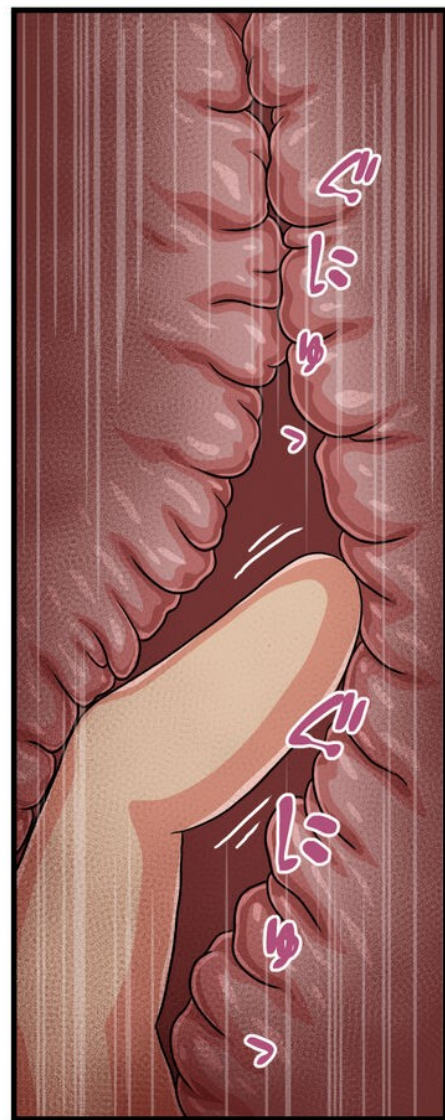
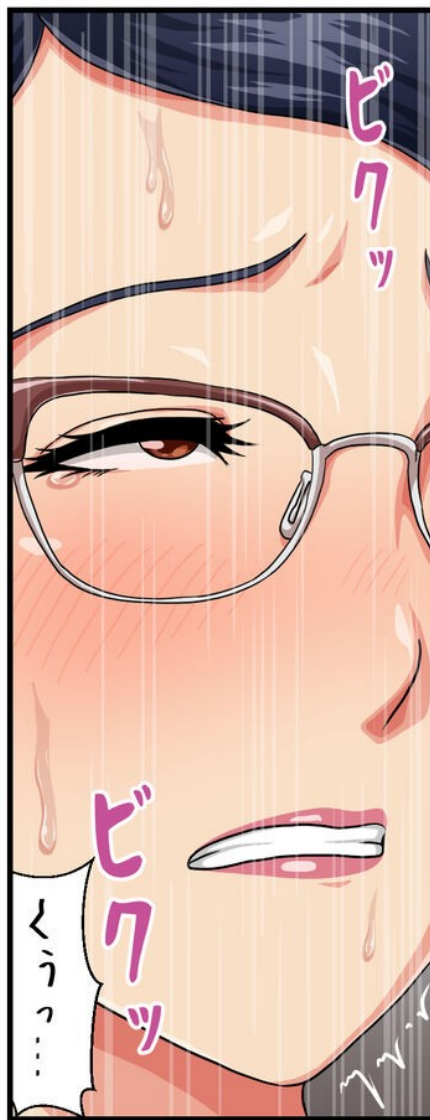
なんだか

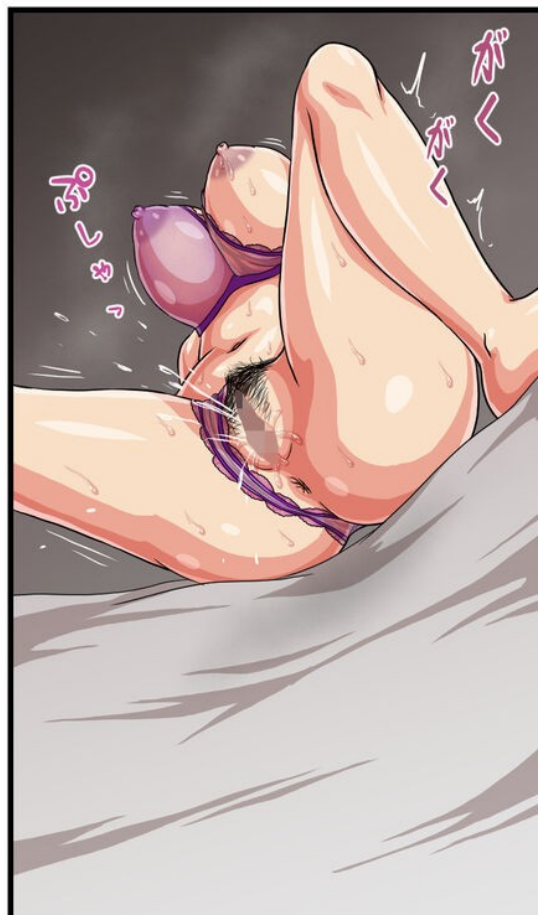
全裸より
恥ずかしい
気がするわ……

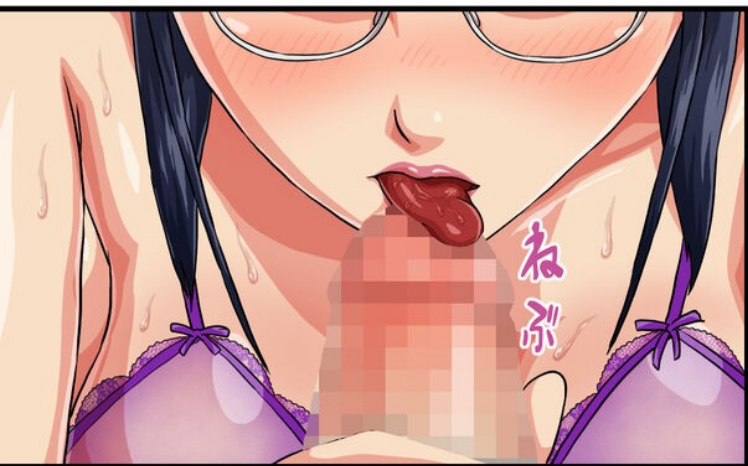
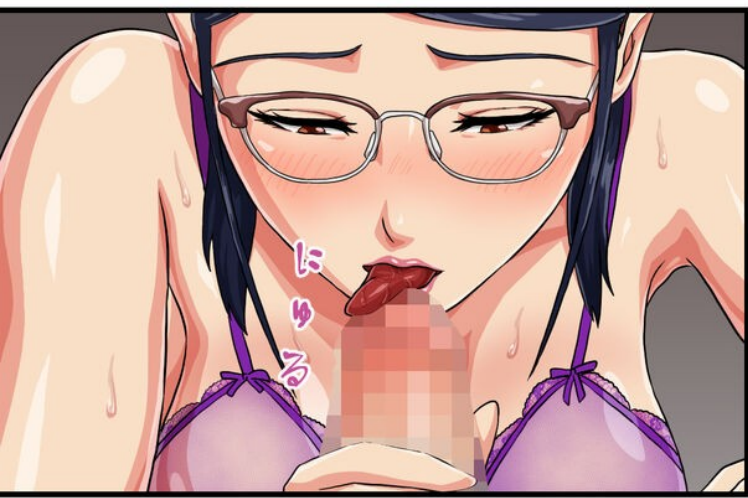


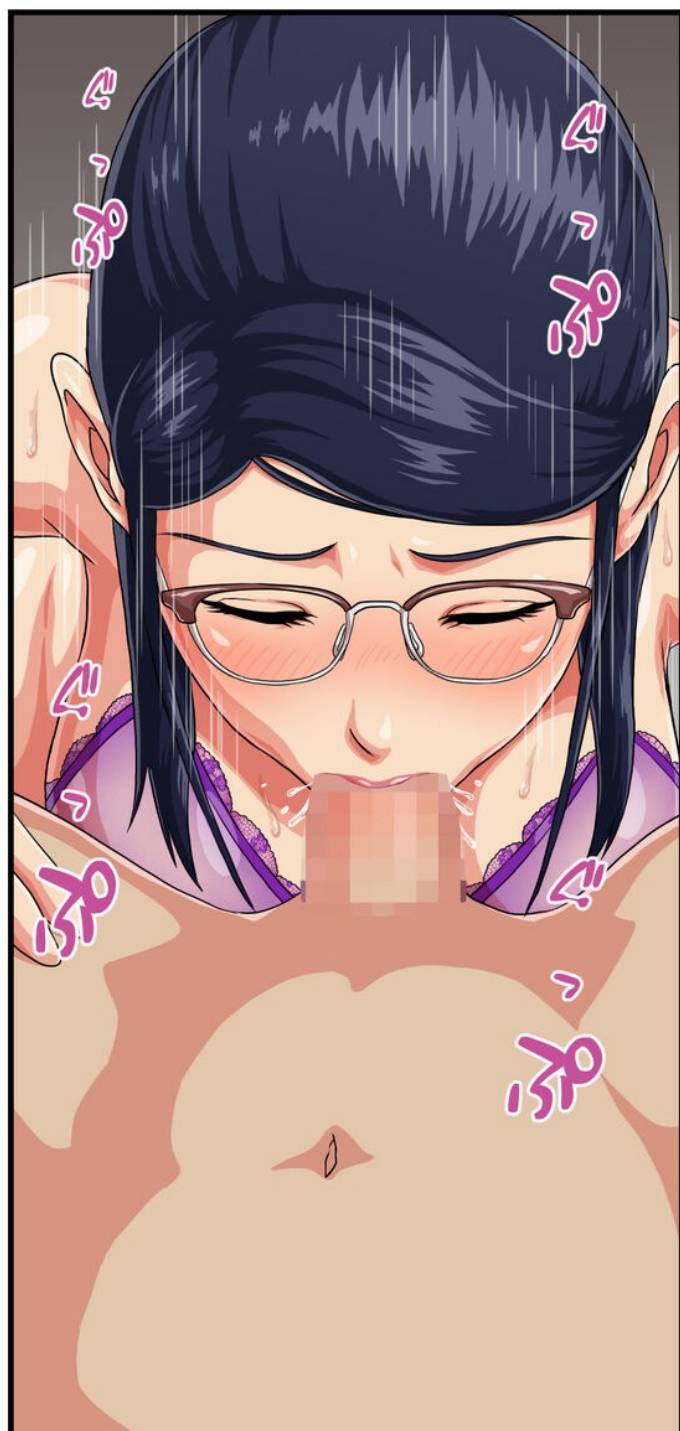






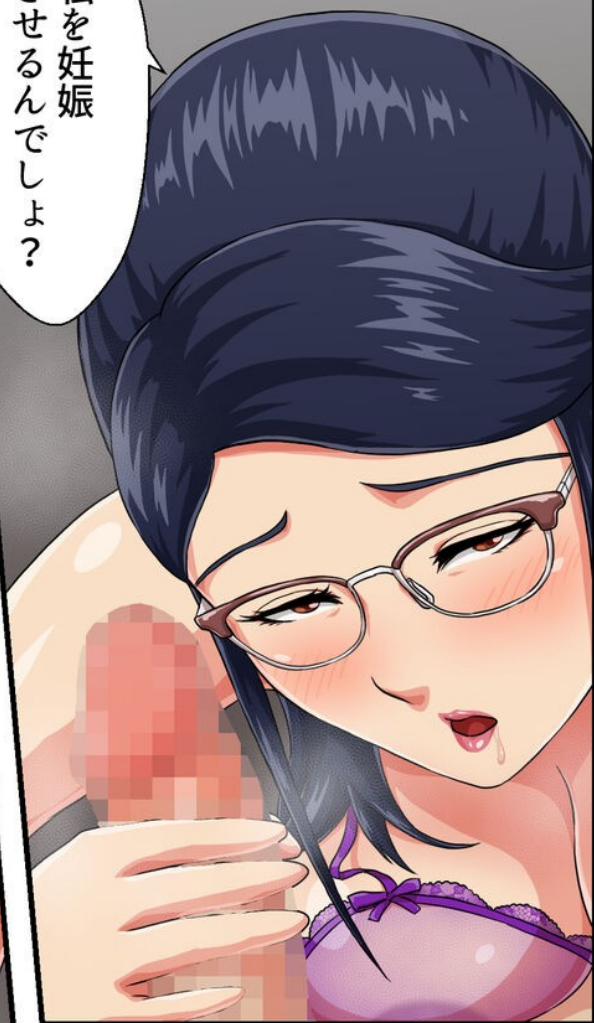




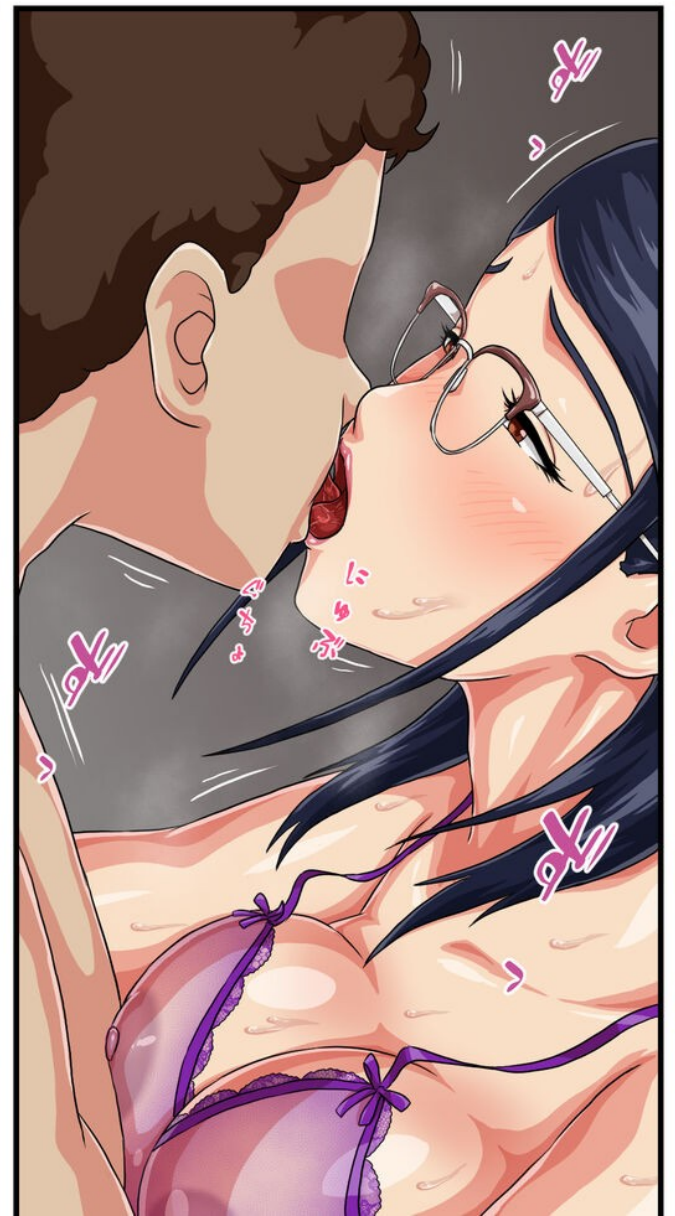
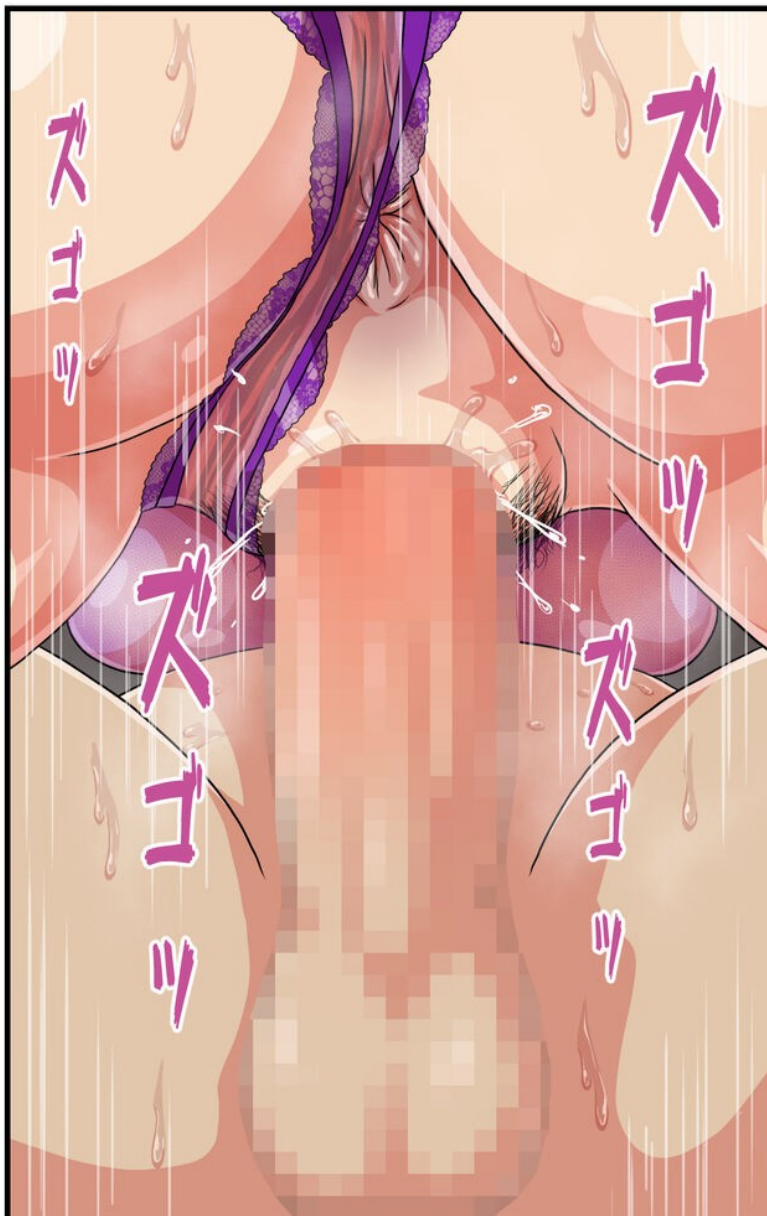




私を妊娠
させるんでしょう？





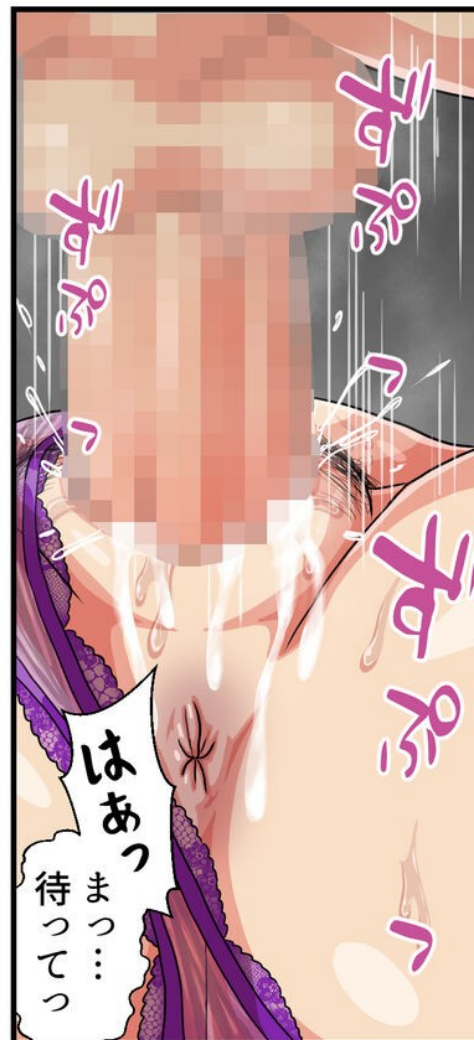
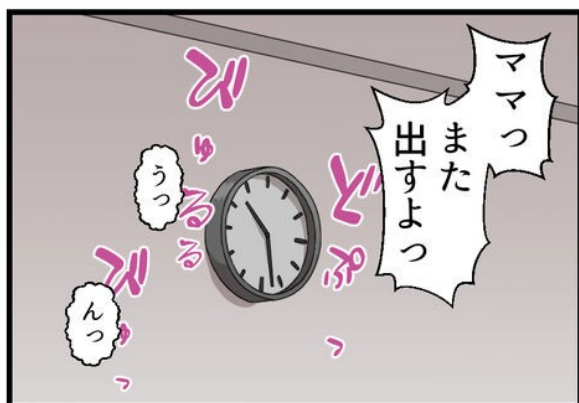
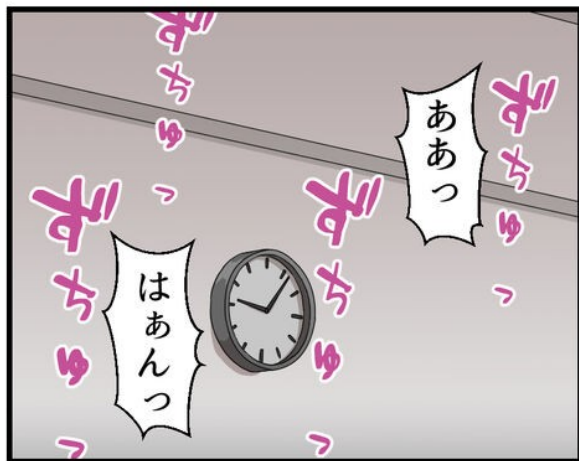


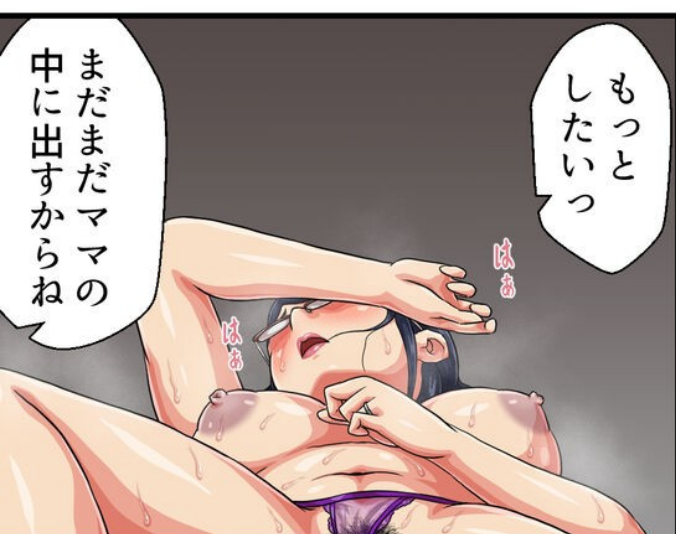


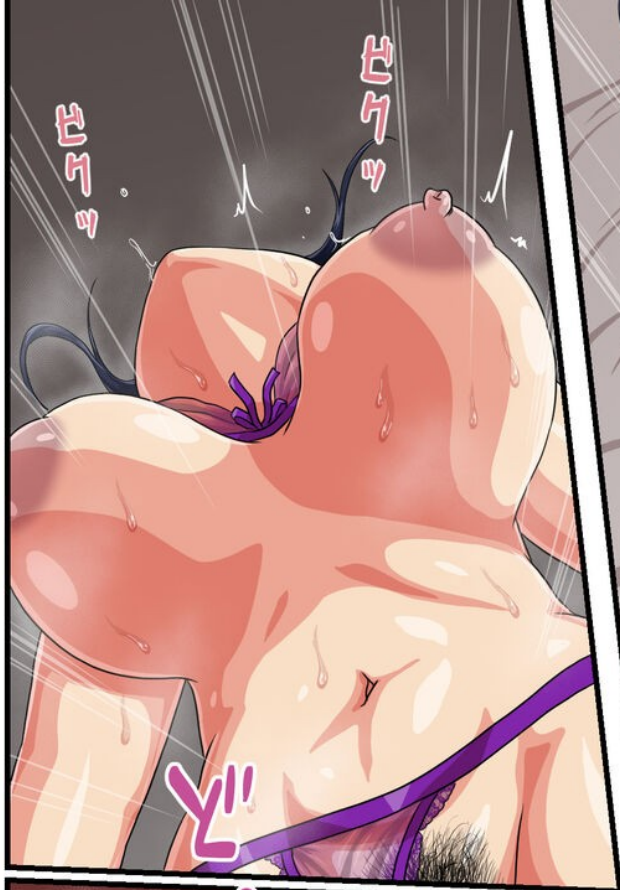
















ママ？
ママッ!?

ビクッ

ビクッ



はあ…
はあ…

…ママ？



大丈夫よ…

はあ…
はあ…

ちよつと
一瞬トんじやった
だけだから



どうし
ようっ…

やりすぎ
ちやった…



私を確実に
孕ませるん
でしょ？

今夜は
あなたの
好きなだけ
やりなさい

それから
私たちは…

マッ……
ママアツ

がばっ

夜が明けるまで
交わり続け

気絶するように
眠りについた

私の妊娠と合わせて
悠人と結婚することを
社内で発表する事にした



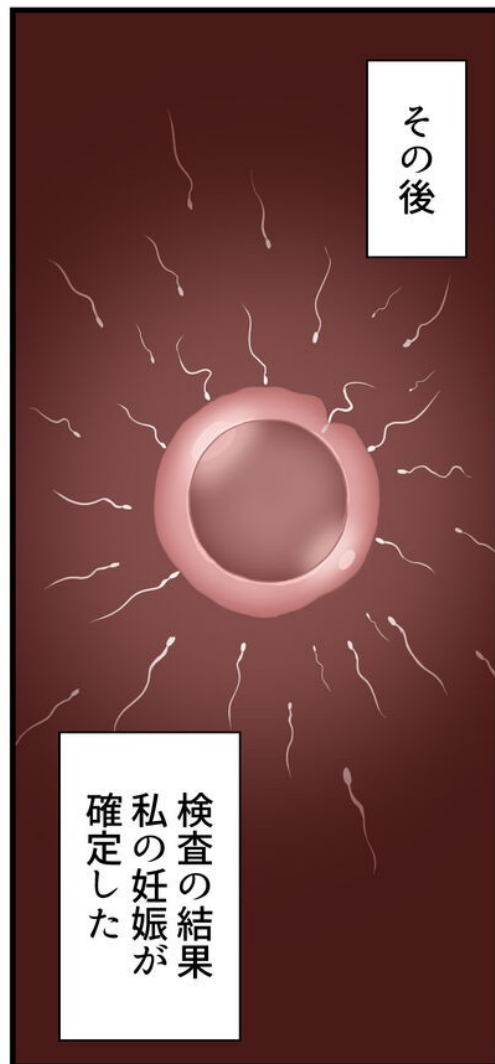
そして

もちろん
本当に籍を入れる
事はできないので
形だけ

社員達は
歳の差婚という事で
驚いてはいたけれど

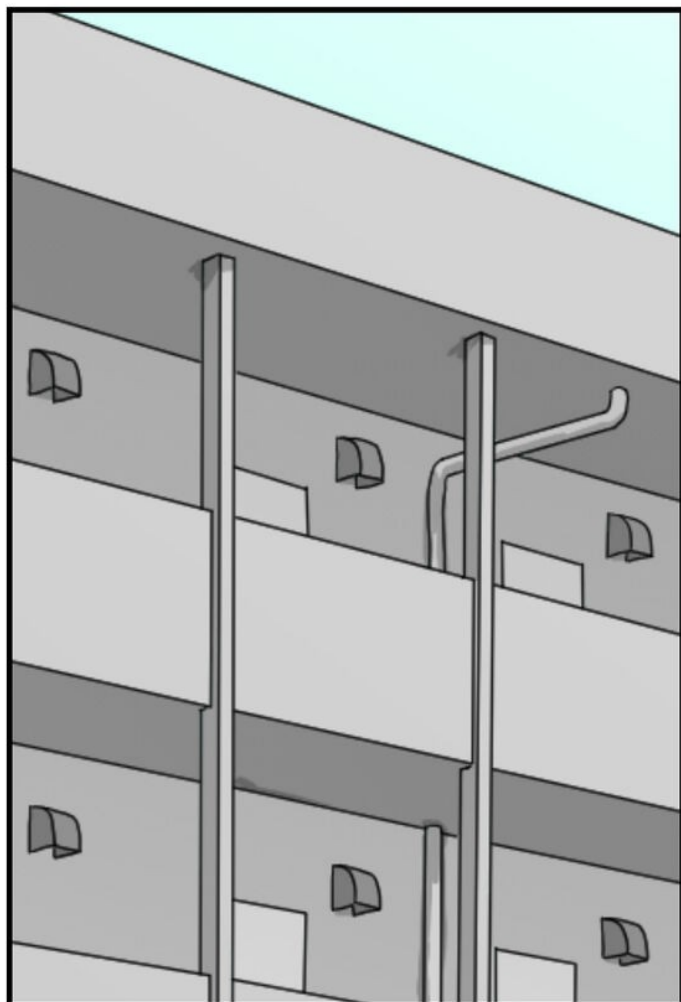


その後



検査の結果
私の妊娠が
確定した

私達が血の繋がった
親子だと知る人は居ない……







お腹の子は
順調に大きく
なっていき

安定期に入り
私の体調も
落ち着いてきた



ママ
赤ちゃんが
動いてるの伝わるよ

そう？
この中にあなたの
息子が居るのよ

弟でも
あるのかしら？



